

NIKKEI BUSINESS DAILY

Smart Times

ナルプログラムの開発。顧問を2社、社外取締役を2社、エンタメ系財団の理事・事務局長・塾長、人材育成系社団法人の理事・総合プロデューサー、個人事務所でお受けしている講演、執筆。これ以外にも新たな

「そんなによくやれますね」。そう呆れられがちだ。2022年1月現在、創業会長のインディゴブルーでお引き受けしているコンサル、研修案件、体験型ケースタディーなどのオリジ

インディゴブルー会長

柴田 励司



1985年上智大文学部。マーサー・ジャパン社長、カルチュア・コンビニエンス・クラブの最高執行責任者（COO）などを経て、2010年インディゴブルー社長、15年から会長。

企画が始まる。私はその企 画のオーガナイザーだ。た。これが変わった。まず「どれが本業ですか」。自分があり、所属する会社 これもよく聞かれる。その 前度「全部、本業です」。前に雇われ経営者という仕 事を受けている。確かにや

「自分軸」の再確認を

っていることは多岐にわた 20年ほど前、米国人の友 自分事である。かつ、その 本質的なテーマも全て同じ と認識している。

誰かが多くの選択肢をも 振り返されることになっ ている。自分軸がないと 会 社、団体から与えられた仕 事やり遂げることに専心 する。自分の人生なのに自 分事になっていない。楽し いからその仕事をしている のではない。責任感からそ の仕事をしているのだ。次 第に責任感と自分なるもの 楽しいかたことを思い出し てみよう。な んでもいい。 それを客観的 に眺めて、今